# (株) 相 5 建設 か わ う 版 VOL. 13 '12 春号

### 耐震リフォームのご紹介



前回ご紹介した、耐震リフォームを 行った住宅が完成しました。

今年1月中旬から着工、基礎の補強 や筋かいの取付など各所を補強し 現在の耐震基準に合致させました。 内装を全面改装し、水廻り品も新し く取替え、窓も断熱2重サッシとし

ました。住宅エコポイントも耐震改修を行うとさらに 15 万ポイント発行されます。

# 昼寝の効果



お昼ごはんの後はついウトウト…みなさんもそのような経験があると思います。春 眠暁を覚えずと言われますが、お昼も眠くなりますね。スペインなどではシエスタの ような昼寝の習慣もありますが、日本のビジネス社会では昼寝はサボりと思われがち です。

しかし最近昼寝をすることで仕事にも体にも良いということが分かってきました。昼 寝研究の第一人者である米カリフォルニア大学のサラ・メドニック氏が「一時間半の 昼寝は1晩分の睡眠に等しい」と発表し、昼寝擁護論に注目が集まっています。健 康的な朝型生活の人の場合、人体のリズムは午前中は上昇。正午ごろをピークとし て午後1~3時頃に活性が低下していきます。午後4時過ぎに再び上昇に転じて数 時間活性した後、就寝時間に向けて再び低下、就寝中の深夜2~3時頃に最低とな

ります。心身の活性が低い午後2~3時頃を睡眠時間にあてることは合理的な行動です。

このように人間には1日に2回眠気のサイクルがあり、午後1時~3時の間に眠気が高まってしまい、集中力や記憶力 を低下させ、仕事の妨げになります。そうした問題に注目されているのが20分程度の昼寝です。NASAの行った実験で は昼寝で仕事の効率が35%向上することが分かっています。さらに夜の睡眠を深くする効果もあるので睡眠不足の解消 につながるとの事です。

#### おとうしゃん、あっちいけ!!



長男恭丞(きょうすけ)も2歳半に間もなくなります。次男の隼平は7ヶ月を迎えま した。

次男のほうは、離乳食もよく食べて、とてもふくよかに育っています。そのせいか 手足がムチムチになっています。

恭丞は、特に弟ができてから、お母さんにぴったりとくっついています。お父さん が抱っこするぞといっても、「おとうしゃんこわい。あっちいけといって逃げてばかり です。息子にとってお母さんが一番だというのは、理解していますが、ちょっと悲し

くもあります。

そのわりに、見知らぬところへ行くとお父さんの足にしがみつくところが、またかわいいところです。

# 大震災から1年



東日本大震災から1年が経ちました。 被災された多くの方々が不自由な仮設 住宅での生活を余儀なくされています。 そして原発事故の影響もあり、原発周 辺で生活されていた方々は、いつ元の 生活に戻ることができるかもわからない 状況になっています。

福島の方がこちらに来られ講演した時に、福島に対して暖かい応援もある一方、差別的な言葉も浴びせられるということを聞き、胸が痛みました。

1年前に facebook をはじめ、その直 後に震災があり、facebookを通じて支援 するグループに入りました。その支援活 動がマスコミに取り上げられることもあり、

恥ずかしながら何度かテレビ、新聞に私が(チラッとですが)登場することもありました。

これまでに、東北の物産品即売会のお手伝いや、仮設住宅の表札づくりなどを お手伝いしてきました。

がれき処理など課題が山積みですが、日本全体で復興を盛り上げていかなければいけませんね。



## 協力業者さん紹介



たします!!』

今回は電気工事の担当をしてくれている吉本電興の吉本さんです。

吉本さんは、電気工事会社で勤めた後、親父さんの興した会社に入り、2代目として活躍 しています。照明プランなど提案力にとても長けています。

#### 吉本より一言

『電気工事を担当している吉本です。先代とウチの親父とは、古くからの付き合いですが、現社長とも長く付き合っていくつもりです。これからもよろしくお願いい

#### 編集後記

看になりましたか、朝晚はまたまだ寒いですね、 冒頭に紹介した耐震りフォームの住宅、実は私達 家族の任む家です、ちょ、とこだれた材料やエ夫か、あるころに施してあります。

ご覧になりたいなは、ぜひご連絡下さい、多んで
が見せいなします

次号は6月の予定です。よるしくお願いします。

昭和36年創業 素材厳選の家づくり



株式会社 相互建設

〒971-8056 金沢市神野1-77
TEL 076-741-8668 FAX 076-741-8614
URL www.sougokensetsu.com
e-mail info@sougokensetsu.com